

令和2年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

申請団体資料

亀岡市 生涯学習部 市民力推進課

令和2年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請団体資料

p.001 申請事業一覧

p.002 Angel Smile 21
ダウン症児・者育成総合支援事業

p.012 一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会
地域の縁むすび～オンラインとオフライン～事業

p.023 大井町文化振興会
第4回大井町文化発表会

p.032 特定非営利活動法人プロジェクト保津川
子どもの未来を守ろう
～親子で考える亀岡プラスチックごみゼロ宣言

令和2年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施場所	実施期間	設定課題(地域課題)	事業内容	目標	総事業費 (円)	申請額 (円)
1	スタート事業	Angel Smile 21	代表 服部 貴博	ダウン症児・者 育成総合支援 事業	亀岡市内全域	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	亀岡市内でダウン症児が療育・訓練等の支援を受けられる施設がなく、また、子育てをする親の悩みを相談する機会も少ない状況である。 このような環境を改善するために、ダウン症の子ともたらとその他の家族、地域社会に向けて活動を展開する必要がある。	勉強会・イベント、きょうだい支援、啓発活動、親の相談会、社会貢献活動	・ダウン症児・者とその家族が自分らしく笑顔で暮らせる体制づくり ・亀岡市との連携によるダウン症児・者への支援の充実 ・亀岡市で安心してダウン症児を出産できる体制づくり ・リーフレット作成・配布(産科等)による認知度向上と新規入会者の獲得	200,000	160,000
小計											160,000
2	ステップアップ事業	一般社団法人日本ファミリアナビゲーター協会	代表理事 田中 実賀子	地域の縁むすび～オンライン～とオフライン～事業	亀岡市内全域	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	人生の転機となる子育ての始まりで生活スタイルや働き方が変わる。児童虐待相談件数が増え、子育てに関する知識不足や移住家族化による地域内での子育て家庭の孤立などが原因の一部と考えられる。妊婦期から家族の土台を作り、また、地域の繋がりを持つなどの対策が必要である。	①「両親学級：ファミリアークリエイティング」当事者向け講座をオフライン・オンラインで実施 ②「亀岡オンライン放送局」様々な人とつながれるような地域の情報を発信 ③報告書作成・発行年間事業の成果報告書を作成し関係機関へ配布	①虐待予防や早期離婚回避(市内在住受講者20組) ②妊婦者が地域に出自を、地域の人や子育てを応援する人となつがる(子育てを応援する人の会員登録1,000人)	2,700,000	200,000
3	ステップアップ事業	大井町文化振興会	代表者 松山 一男	第4回大井町文化発表会	大井小学校および大井町全域	令和2年4月30日～ 令和3年3月31日	高齢者のみの世帯や、一人暮らし世帯が増加し、住民による見守りや支えあいの必要性が高まっている。既存のスポーツサークル等へ参加しづらい人にも、文化サークルなどを通じて地域に出てきて、楽しむことのできる場所が求められている。	高齢者の生きがいに関がるような普及の活動の成果発表の場を作るとともに、実施に際して様々な世代の住民が協力・交流することで、「支え合い・助け合い」の心意気を育成する。	住民それぞれが親密な絆でつながり合い、支え合う、あたたかなやさしいまちを目指す。地域住民の中での活動サークルや活動家の輪の拡大と文化振興会の活動の認知度向上。 発表会参加者200名	132,000	60,000
小計											260,000
4	市民連携事業	特定非営利活動法人プロジェクト保津川(連携先:亀岡市環境市民部環境政策課環境クリーニング進課)	代表理事 原田 禎夫	亀岡プラスチックスこみゼロ宣言～みんなで考える亀岡の未来	亀岡市内(サンガスダジアルム、安詳小学校 他)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	保津川の環境悪化が深刻化し、観光産業にも影響を与えているため、環境保全が課題である。 亀岡市の「かめおかプラスチックスこみゼロ宣言」は、取り組みが大きな進展を見せている一方で、この対策の必要性が十分に理解されておらず、その趣旨を広めて、市民意識を向上させることが求められている。	①シンポジウムプラスチックスこみ抑制に向けて、先進事例を学びながらプラスチックスを使用しない飲食サービス(ecoマルシェ)を実施。 ②ペイントイベントアーティスト指導の下、こみ取集車に親子でペイントし、こみ削減のメッセージを発信	かめおかプラスチックスこみゼロ宣言の趣旨に対する理解、住民による清掃活動や自発的な活動の活発化、2030年までに使い捨てプラスチックスこみゼロの実現。 シンポジウム参加者100名、マルシェ参加者500名、ペイント参加者100名	1,373,800	400,000
小計											400,000
合計											820,000

事業計画書

団体名: Angel Smile 21

1. メニュー名	申請するメニューに○をしてください。 (1) <u>スタート事業</u> (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	ダウン症患者育成に伴うふれあいの交流の場づくり
3. 場所	実施場所を記入してください。 島岡市内全域
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和2年4月1日～令和3年3月31日までです。 令和 <u>2</u> 年 <u>4</u> 月 / 日 ~ 令和 <u>3</u> 年 <u>3</u> 月 <u>3</u> / 日
5. 課題	事業実施の背景となる地域課題について、現状や課題を具体的に記入してください。できるだけ、数値などの具体的なデータも記載してください。 ※申請団体の抱える課題ではありません。
島岡市において現況、ダウン症児が産まれてから療育・訓練等の支援を受けられる施設がなく、花、木福祉医療センターを頼らざるを得ない状況にある。しかし、現在では花、木福祉医療センターにおいても療育・訓練を受けられる状況が厳しくなっており、子ども達の成長が危惧されている。 この様な環境を少しでも改善するため、Angel Smile 21を立ち上げ、子ども達それぞれが地域社会に向けて自立できる子育の、様々なイベントを通じてふれあいができる交流の場づくりが必要である。	

6. 事業内容	上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。 (例：実施スケジュール、会場、内容、講師名、対象者、情報発信方法等)																												
	○ 勉強会 (教育相談) ○ 農業体験学習 ○ 健常者との交流 ○ 親の悩み相談 ○ 町内より体験学習 ○ 社会貢献活動																												
令和2年	<table> <tr> <td>4月</td><td>ピニック交流</td><td>亀岡運動公園</td></tr> <tr> <td>5月</td><td>農業体験学習 (エフアイ田とくろ枝豆の定植)</td><td>東別院町小泉</td></tr> <tr> <td>6月</td><td>亀岡中学校吹奏楽部との交流</td><td>亀岡中学校</td></tr> <tr> <td>8月</td><td>勉強会</td><td>カレリアかめおか</td></tr> <tr> <td>10月</td><td>農業体験学習 (エフアイ田とくろ枝豆の収穫)</td><td>東別院町小泉</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>第3回ミーズボリューション</td><td>亀岡小学校</td></tr> <tr> <td>12月</td><td>クリスマス交流 (リースづくり)</td><td>カレリアかめおか</td></tr> <tr> <td>令和3年</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2月</td><td>音楽療法</td><td>カレリアかめおか</td></tr> </table>		4月	ピニック交流	亀岡運動公園	5月	農業体験学習 (エフアイ田とくろ枝豆の定植)	東別院町小泉	6月	亀岡中学校吹奏楽部との交流	亀岡中学校	8月	勉強会	カレリアかめおか	10月	農業体験学習 (エフアイ田とくろ枝豆の収穫)	東別院町小泉	11月	第3回ミーズボリューション	亀岡小学校	12月	クリスマス交流 (リースづくり)	カレリアかめおか	令和3年			2月	音楽療法	カレリアかめおか
4月	ピニック交流	亀岡運動公園																											
5月	農業体験学習 (エフアイ田とくろ枝豆の定植)	東別院町小泉																											
6月	亀岡中学校吹奏楽部との交流	亀岡中学校																											
8月	勉強会	カレリアかめおか																											
10月	農業体験学習 (エフアイ田とくろ枝豆の収穫)	東別院町小泉																											
11月	第3回ミーズボリューション	亀岡小学校																											
12月	クリスマス交流 (リースづくり)	カレリアかめおか																											
令和3年																													
2月	音楽療法	カレリアかめおか																											

7. 目標	本事業の実施が地域課題解決にどのようにつながるのか、また本事業で達成したい目標について、アウトプット（事業の参加者数などの目標）とアウトカム（課題解決を評価する目標）の2つの観点から記入してください。
	○ ダウン症見-者それぞれが地域社会での自立を目指す。 ○ ダウン症見-者に対する社会の壁を無くす。 ○ 作品展の開催 ○ リーフ作製により産婦人科等関係団体等に配付する事で、当会の認知度向上を目指し新規入会者も募る。
8. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。
	○ 花/水 福祉医療センター（専門知識の指導） ○ 亀岡市（福祉に関するイベント） （公的支援に関する事） （療育、訓練に関する事） （教育に関する事）

9. 既実施時の 課題と成果	※本支援金を過去に交付した事業の継続申請の場合は記入してください。 事業実施時の課題と成果、また、今回の申請にどのように課題と成果を反映した のかを前回交付時の報告書と対比させて、具体的に記入してください。
10. 支援終了後 の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開を どのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。
○ 持続可能な組織づくりの強化・構築 (1) 自己資金の確保 (賛助会員への資金造成) (2) 役員の後継者育成	

※内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

※事業内容が分かる参考資料があれば、添付してください。

収 支 予 算 書

団体名

Angel Smile 21

〔収入〕

項 目	予算額(円)	内訳(数量・単価など)
支えあいまちづくり協働支援金	160,000	
自己資金 (会費・寄付・事業収入)	40,000	
その他補助金 ※スタート事業は不可		
その他		
合計額	200,000 -	※支出総額と同額になります。

〔支出〕

項 目	予算額(円)	内訳(数量・単価など)
対象経費	旅費	5,000 講師旅費 大阪→亀岡
	消耗品費	30,000 紙・事務用材料
	印刷製本費	100,000 14 3500 リーフレット作製 1000x1000 5,000部
	通信運搬費	
	広告宣伝費	
	保険料	15,000 火災 50x60x5回/年
	使用料及び賃借料	30,000 ガレージ賃
	委託料 報償費 手数料	50,000 講師料
	飲食費	
	小 計(A)	200,000
間接経費(B)		直接事業費の10%、もしくは4万円のうち少ない額 ※スタート事業・ステップアップ事業は算入できません。
合 計(C=A+B)		200,000
対象外経費		
	合 計(D)	
総 計(C+D)		200,000 ※収入総額と同額となります

※記入欄が不足する場合は、適宜追加してください。

団体概要書

団体名	(ふりがな) えんごな すまいる Angel Smile 21	
代表者役職		代表
代表者 氏名	(ふりがな) わ えり つか ちか 服部 貴博	
団体 所在地	住所	〒
	電話番号	
	FAX 番号	() -
	E-mail	@
	WEB サイト	
設立（活動開始）年月日	昭和 ・ 平成 ・ 令和 / 年 9 月	
会員数（構成員数）	18 人（うち亀岡市民 16 人） ※5 人以上の構成員があり、かつ構成員の 5 割以上が亀岡市民であることが申請要件です。	
担当者 連絡先	氏名	(ふりがな)
	住所 (文書送付先)	〒
	電話番号	() -
	携帯電話	() -
	FAX 番号	() -
	E-mail	@

団体のミッション（目的）	※団体のミッション（活動目的）を記入してください。 ※記入の代わりにパンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。 添付の総合資料の通り
団体の事業内容	※団体の事業内容を記入してください。 ※パンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。 ㄥ
団体の事業実績	※補助金や助成金等を受けての事業実績や行政機関等からの受託実績、表彰実績などがあれば記入してください。 ※パンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。 ㄥ

役員名簿

団体名	Angel Smile 21	
役職	氏名	住所（町名まで）
代表	服部 貴博	
副代表	山本 真央美	
会計	稲原 加奈子	
庶務	芦田 崇	
〃	平田 直美	
〃	吉田 千秋	

※欄が不足する場合は、適宜追加してください。

※提出頂く名簿が会則等で定める役職と合致していることをご確認ください。

第1号議案 令和元年度活動報告並びに収支決算の承認について

自：令和元年9月21日

至：令和2年3月31日

I. 活動報告書

2019年は、「令和」の新しい時代がスタートいたしました。

また、2020年東京オリンピック開催に向けての準備が進む中、本年2月には中国を中心に「新型コロナウイルスの感染」が世界的に拡大し、今日では日本国内でも多くの感染者が日々報告され、未だ終息の兆しささえ見えない状況にあります。

このような状況の中において、我々、障がい児・者を持つ家族にとっての生活環境は、行政の支援を得るもまだまだ満足出来るものではなく、令和元年9月21日に、ダウン症候群を持つ親の会として「Angel Smile21」を設立したところであります。会員の皆様方には会としての3つの目的、①個々の成長に合わせた将来を正しく導くための活動・支援②保護者・家族の心のよりどころとなる居場所づくり③将来ダウン症候群をもって産まれてくる子どもとその家族が安心して生活できる環境づくりに賛同いただき、活動を展開してまいりました。

初年度ということで、何から始めようと色々と考えるなか、会員の皆様からのご意見をいただき、3回の活動をしました。

この活動を通じて、子どもたち同士の和ができ、また、親としても相談できるお相手ができ、大きな成果となりました。

一方、行政関係への要望等についても、令和元年9月27日に亀岡市長との対談の機会を設けていただき、「Angel Smile21」の設立の主旨・目的を告げ、亀岡市におけるダウン症児・者への更なる支援を要望いたしました。あわせて、京都府・亀岡市の議員を通じて、ダウン症のある子を授かった場合の手帳、

「+H a p p y しあわせのたね」の無料配布についても要請いたしました。

Ⅱ. 活 動 報 告

自：令和元年9月21日

至：令和2年3月31日

日 時	活 動 内 容	場 所
令和元年9月21日	AngelSmile21設立	—
9月27日	亀岡市長対談	亀岡市長室
10月7日	発起人会	和食さと
10月12日	AngelSmile21設立説明会	ガレリア亀岡
11月4日	マミーズレボリューション（第1回活動）	亀岡小学校
	役員会	BABYFACE
	第1回活動に係る精算および第2回活動計画について	
12月8日	クリスマスリース作り（第2回活動）	池佳
12月24日	「+Happy しあわせのたね」手帳の無料配布について 中村府議会議員事務所	
1月25日	亀岡中学校吹奏楽部見学・打ち合わせ	亀岡中学校
2020年2月9日	空手体験（第3回活動）	ガレリア亀岡
	役員会	
	第3回活動に伴う事務整理および通常総会の開催計画について	和食さと
2月17日	花ノ木訓練縮小の実態調査および継続依頼について	花ノ木福祉医療センター
3月28日	役員会 令和元年度 通常総会について 会計監査	和食さと
3月31日	花ノ木訓練縮小の実態についての報告および 亀岡市への訓練施設の増設と現訓練施設への 支援要請について	亀岡市障がい福祉課 保険センター

事業計画書

団体名：一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会

1. メニュー名	申請するメニューに○をしてください。
	(1) スタート事業 (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	地域の縁むすび ～オンラインとオフライン～
3. 場所	実施場所を記入してください。
亀岡市内全域	
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和2年4月1日～令和3年3月31日までです。
令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
5. 課題	事業実施の背景となる地域課題について、現状や課題を具体的に記入してください。できるだけ、数値などの具体的なデータも記載してください。 ※申請団体の抱える課題ではありません。
子育てが始まり親になることは人生の中でも大きな転機であり、男女ともに第一子誕生を機に生活スタイルや働き方を変えるというように、いわば人生を再設計する時期であるが、“親になるための知識習得の場”もなければ、夫婦の相互理解プログラムもないまま、結婚して子どもが生まれたら自然に親と呼ばれるようになり、知識不足の状態で子育てが始まる。これにより育児不安から児童虐待を引き起こしかねない。亀岡市においても平成29年度児童虐待相談件数は185件あり対前年度比147%となっている。 さらに、近年はイクメンと言われるように積極的に育児に関わる男性も増えてきているが、夫婦間で子育てに対する考え方の相違から関係性が悪化し、子どもの乳児期の離婚ケースが多くみられる。亀岡市でも平成28年度の年間離婚件数は145件、離婚率は1.63%。厚生労働省の平成23年度全国母子世帯等調査では、母子世帯になった時の末子の年齢は0～2歳の34.2%が最も多く、次いで3～5歳の20.4%となっており、子どもが乳幼児期での離婚率が高い状況である。離婚の理由は、「性格が合わない」が男女ともに1位（最高裁判所開示による平成27年度司法統計のデータ「婚姻関係事件数」参考）となっている。 こういったことを予防するためには妊娠期の子育てが始まる前や遅くとも出産後早期に家族の土台を作っていくことが必要である。	

また、出産後は生活が大きく変わり必要な情報も変わってくるが、日々の育児に追われ新しい生活に密着した情報が得にくく、核家族化が進んでいることもあり地域の中で子育て家庭が孤立してしまう現状がある。亀岡市でも平成 27 年 10 月の調査で核家族は一般世帯の 67%にもなり前回の平成 17 年の調査から 1.5%増え増加傾向にある。これから長年にわたり子育てをするには子どもたちの成長過程で必要となる地域とのつながりを持つことは大切であり、周りの人たちも子育て家庭とつながり支えていくことが必要である。

6. 事業内容	上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。 (例：実施スケジュール、会場、内容、講師名、対象者、情報発信方法等)
----------------	--

妊娠期に家族の土台を作るために「両親学級：ファミリークリエイティング」事業について、支援者へ周知するとともに当事者向け講座をオフラインとオンラインで 3 回実施。子育て家庭を初め様々な人がつながる「亀岡オンライン放送局」を定期的に配信する。また、配信内容は YouTube から随時視聴できるようにする。

1. 両親学級：ファミリークリエイティング

【スケジュール】

6 月 講座開催準備：資料（事例動画）制作

7 月～ 広報

- ・母子健康手帳交付時にチラシ配布
- ・子育て支援施設にてチラシ設置
- ・亀岡市広報誌「キラリ☆亀岡」掲載

9 月～ オンライン・オフライン両親学級開催（3 回実施）

会 場 Zoom および ガレリアかめおかなど

- 内 容
- ・産後、夫婦に起きること
 - ・夫婦のコミュニケーションのコツ
 - ・夫婦の価値観を知ろう
 - ・出産後の生活をイメージしよう
 - ・夫婦で仲よくシェアリング
 - ・夫婦 3 分ミーティング

講 師 田中美賀子（キャリアコンサルタント）

竹内博士（ファミリーナビゲーター、コミュニケーショントレーナー）

対象者 妊婦とパートナー、産婦とパートナー

定 員 各回 10 組

11 月～ 受講者へヒアリング

2. 亀岡オンライン放送局

【スケジュール】

4月 放送局開設

5月 試験放送

スタジオ整備（亀岡市内）、番組づくり

6月～ 放送開始

YouTube、Zoom、Facebook を活用してライブ配信する。

配信動画は YouTube チャンネルアップロードして自由に視聴可能とする。

- ・定期放送（毎週1回、40回）

取材活動（亀岡市内）、番組づくり、ライブ放送

担当：田中美賀子、竹内博士

- ・特別放送（随時、ゲストあり、10回程度）

取材活動（亀岡市内）、番組づくり、ライブ放送

担当：田中美賀子、竹内博士

- ・子ども放送局（随時、10回程度）

取材活動（亀岡市内）、番組づくり、ライブ放送

担当：竹内博士

放送局ホームページ制作

番組紹介、地域情報、グルメ、お出かけ、子育てワンポイント、お店PR

亀岡市からのお知らせコーナーなど掲載

放送局広報（1回目） 子育て家庭へチラシ配布、亀岡市広報誌掲載

お店PRコーナー募集 亀岡市内店舗へチラシ配布

7月～ お店PR動画制作開始

9月 放送局広報（2回目） 子育て家庭へチラシ配布

亀岡市内の店舗や施設にポスター掲示

1月 放送局広報（3回目） 子育て家庭へチラシ配布

3. 報告書制作、発行

【スケジュール】

2月中旬 掲載内容検討

2月下旬 掲載内容決定、原稿作成

2月末 最終確認、入稿

3月中旬 報告書納品

関係機関へ配布

7. 目標	本事業の実施が地域課題解決にどのようにつながるのか、また本事業で達成したい目標について、アウトプット（事業の参加者数などの目標）とアウトカム（課題解決を評価する目標）の2つの観点から記入してください。
「両親学級：ファミリークリエイティング」事業をオンラインとオフラインで実施することで、参加者が場所に拘束されず、夫婦が妊娠中から2人で子育てするために必要な知識の習得や家族の土台作りの関係構築が可能となる。これにより、児童虐待の予防や早期の離婚回避できる。亀岡市内在住の受講者を20組目指したい。 「亀岡オンライン放送局」では、子育て家庭を中心に生活に密着した情報をタイムリーに配信することで、視聴者は得た情報から実際に地域に出向くことでつながりを持つことができるようになる。そして、子育てを応援したい周りの人たちとも情報を共有し実際にもつながることで子育て家庭を支え孤立を予防ができる。子育て家庭および子育てを応援したい人たち約1000人の登録会員を目指す。	
8. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。
9. 既実施時の課題と成果	※本支援金を過去に交付した事業の継続申請の場合は記入してください。 事業実施時の課題と成果、また、今回の申請にどのように課題と成果を反映したのかを前回交付時の報告書と対比させて、具体的に記入してください。
10. 支援終了後の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。
・関係機関へ継続的に「両親学級：ファミリークリエイティング」事業の説明を行い、各地の自治体やNPOが独自で取り組めるよう理解を深めていく。 ・事業実施状況をまとめた報告書を発行し参加者以外の多くの人にも様子を伝え関心を持ってもらうことで、次回への参加意識を高める。 ・継続的な事業運営を行うために、オンライン放送局への賛同者を増やし協力金の増額を目指して財源確保に努める。	

※内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

※事業内容が分かる参考資料があれば、添付してください。

収 支 予 算 書

団体名 一般社団法人
日本ファミリーナビゲーター協会

〔収入〕

項 目	予算額(円)	内訳(数量・単価など)
支えあいまちづくり協働支援金	200,000	
自己資金 (会費・寄付・事業収入)	700,000	お店PRコーナー掲載料 @20,000円×35
その他補助金 ※スタート事業は不可	1,800,000	京都府地域交響プロジェクト交付金
合計額	2,700,000	※支出総額と同額になります。

〔支出〕

項 目	予算額(円)	内訳(数量・単価など)
対象経費	直接経費	報償費 100,000 亀岡オンライン放送局 ゲスト出演者謝金 @10,000円×10人=100,000円
		消耗品費 119,340 コピー用紙、文房具、プリンタインク、 記者ノート、腕章、記者Tシャツ、のぼり、封筒
		印刷製本費 423,500 両親学級 告知チラシ 49,500円 A4/両面カラー、10,000枚 亀岡オンライン放送局 告知チラシ 99,000円 @33,000円×3回 A4/5000枚×3回 告知ポスター 33,000円 A2/300枚 お店PRコーナー募集チラシ 22,000円 A4/500枚 報告書制作、発行 220,000円 28ページ、カラー、1000冊
		通信運搬費 70,000 両親学級 案内チラシ送料 @210円×100か所=21,000円 亀岡オンライン放送局 お店PRコーナー募集チラシ送料 @120円×200か所=24,000円 報告書発行 送料 @250円×100か所=25,000円
		使用料及び 賃借料 203,000 両親学級 講座開催会場費 @5,000円×1回=5,000円 動画撮影会場費 @9,000円×2回=18,000円 亀岡オンライン放送局 ライブ配信会場費 @3,000円×60回=180,000円
		委託料 198,000 亀岡オンライン放送局 ホームページ制作費 198,000円 放送局で取材した動画をアップ
		小 計(A) 1,113,840
		間接経費(B)
		合計(C=A+B) 1,113,840

対象外経費	報償費	200,000	両親学級 講師謝金 @10,000円×10時間=100,000円 亀岡オンライン放送局 進行者謝金 @10,000円×5回=50,000円 子ども記者指導員謝金 @10,000円×5回=50,000円
	旅費	99,760	事業企画運営会議 JR代 亀岡ー西舞鶴 @5,720円(往復)×8人=45,760円 亀岡オンライン放送局 取材活動、広報活動 ガソリン代 @20円×2700km=54,000円
	使用料及び賃借料	12,000	事業企画運営会議 実施会場費 @2,000円×6回=12,000円
	委託料	544,500	両親学級 動画編集・公開 110,000円 @11,000円×10本 亀岡オンライン放送局 PR動画映像編集費 385,000円 @11,000円×35本 イラストデザイン料 49,500円
	人件費	500,000	事業企画運営会議 事前準備、当日運営 @1,000円×20時間=20,000円 両親学級 事前準備、当日運営、事後処理 @1,000円×30時間=30,000円 亀岡オンライン放送局 定期放送、特別放送、子ども放送局 各取材活動、番組づくり、ライブ放送 @1,000円×400時間=400,000円 報告書制作、発行 掲載内容検討、原稿作成 @1,000円×50時間=50,000円
	備品購入費	229,900	亀岡オンライン放送局 ビデオカメラ 44,000円 ビデオカメラ用三脚 22,000円 照明機材 33,000円 クロマキー幕 9,900円 @3,300円×3 撮影背景スタンド 33,000円 テーブル 22,000円 @11,000円×2 イス 22,000円 @5,500円×4 SDカード 22,000円 データ保存用ハードディスク 22,000円
合 計(D)		1,586,160	
総 計(C+D)		2,700,000	※収入総額と同額となります

※記入欄が不足する場合は、適宜追加してください。

団体概要書

団体名	(ふりがな) いっぱんしゃだんほうじんにほんふぁみりーなびげーたーきょうかい 一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会	
代表者役職		代表理事
代表者 氏名	(ふりがな) たなか みかこ 田中 美賀子	
団体 所在地	住所	〒 1
	電話番号	
	FAX 番号	
	E-mail	info@faminavi.com
	WEB サイト	https://faminavi.com/
設立（活動開始）年月日		令和元年 5 月
会員数（構成員数）		5 人（うち亀岡市民 4 人） ※5 人以上の構成員があり、かつ構成員の 5 割以上が亀岡市民であることが申請要件です。
担当者 連絡先	氏名	(ふりがな) たなか みかこ 田中 美賀子
	住所 (文書送付先)	〒 団体所在地に同じ
	電話番号	() -
	携帯電話	
	FAX 番号	() -
	E-mail	tanaka@faminavi.com

[トップページ](#)
[ファミナビについて](#)
[今後のスケジュール](#)
[かめおか子ども新聞](#)
[事業実績](#)


ファミナビについて

[ホーム・ファミナビについて](#)

ご挨拶

この度、家族円満の大切さを伝えていくため、一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会を設立いたしました。

「こんなはずじゃなかった」「誰も教えてくれなかった」。長年、子育て支援や母子保健に関わる中で初めて子どもを産んだ母親から、この言葉を何度も繰り返し聞いてきました。「子育ては大変」「3時間おきの授乳」、こんなイメージは持っていても、「何が大変なの?」「授乳ってどういうこと?」といった具体的なことを知らないまま子育てに突入り戸惑う母親たち。また、不安や孤独を抱えながら小さな命と向き合う母親たち。

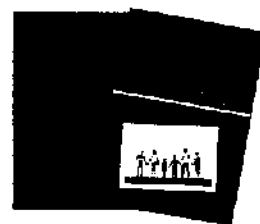
私もそうでした。初めての出産した時は無事に分娩を終えた安堵の気持ちでいっぱい、これから待ち構えている孤独と不安の日々など想像もできませんでした。しかし、実際に子育てが始まってみるとわからないことだらけ。泣き続けるわが子を前に戸惑う日々でした。また、近年では、子育てに関わっていきこうという父親も増えました。妊婦健診やパパママ教室に一緒に行ったり、家事をしたり、立ち会い出産も多くなりました。けれども、「何を手伝えればいいかわからない」「子育てのイメージがわからない」、父親からはこんな悩みをよく聞きます。

どうすれば子育てしやすくなるのか、子育ての大変さを軽減できるのかを考え続け、ようやく「家族円満」「夫婦のパートナーシップ」が全てのもとになる、そこにたどり着きました。現代は子育てを見たり経験したりする機会が少なくなり、「子どもの育て方や家族のつくり方」を学ぶ時代になってきました。出産前の妊娠期これから赤ちゃんを迎える時、人生が変わる大転換期をどう乗り切るのかを伝えていくことが重要だと考え、「ファミリークリエイティング」を開発しました。今までありそうでなかったプログラムだと様々なところから関心を寄せていただいています。夫婦はもとより、できるだけ早い段階から知っていただけるよう子ども世代へのキャリア教育や婚活なども行いながら、家族円満で笑顔の家族が日本中に広がっていくよう邁進してまいります。

代表理事 田中美賀子

ファミリーナビゲーター
 商標登録第6199026号

●お問い合わせ
 090-4299-0625 (田中)
info@faminavi.com



家族円満のための新型
 プログラム「FAMILY
 CREATING」
 ダウンロードは[こちら](#)
 >>

沿革（これまでの経緯）

- ・2017年1月 プレママ・プレパパ講座を亀岡市子育て包括支援センター事業で開始。
- ・2017年7月 子育て講座を亀岡市内保育所（園）にて隔月で実施
- ・2017年8月 プレママ・プレパパ講座を亀岡市内保育所（園）にて隔月で実施
- ・2018年9月 子育てひろば会（舞鶴市）にてファミリークリエイティング事業説明
- ・2018年11月 日本ソーシャル・イノベーション学会・ポスター発表
- ・2018年12月 プレママ・プレパパ講座を舞鶴市にて実施

東京へ視察

- ・2019年1月 同志社大学政策学部にて講義

南丹市にてファミリークリエイティング事業説明

- ・2019年2月 プレママ・プレパパ講座（ランチ付き）を京都市内カフェにて実施
「FAMILY CREATING」冊子制作協力
- ・2019年3月 こどもつながりフェスタin京都にて「夫婦円満セッション」ブース出展&活動発表

- ・2019年4月 プレママ・プレパパ講座を山口市にて実施

公証役場にて一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会定款認証

- ・2019年5月 一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会登記
「ママ∞フェスタ2019」（高松市）へ視察

子育て講座を綾部市にて実施

きょうと婚活支援ネットワーク団体登録

- ・2019年6月 「かめおか子ども新聞」子ども教育支援事業として発行

なんたん子育てフォーラム・京都府PTA指導者兼研修会南丹大会分科会 京都先端科学大学 舞鶴警察署「ファミリークリエイティング講座」

連合中部地域福祉対策研究集会研修

京都府連合婦人会中央研修会支援者研修

- ・2019年7月 法人設立記念パーティー開催
- ・2019年8月 婚活成功セミナー（亀岡市婚活）
- ・2019年9月 南丹地区子育て支援協議会活動紹介

セミナー付婚活パーティー開催

- ・2019年10月 「ファミリークリエイティング講座」京都市こどもみらい館で定期開催開始

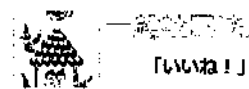
ハロウィーン婚活パーティー開催

たちばな幼稚園PTA講演会（舞鶴）

- ・2019年12月 日本ソーシャル・イノベーション学会第1回年次大会WS

クリスマス婚活40×40（きょうと婚活応援センター共催）

ロールモデルカフェ with 京都（協力・主催：財務省、NPO法人ファザーリングジャパン）

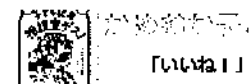


一般社団法人
ファミリーナビゲーター
約2週間前

昨日のオンライン講座
ントで放送されました。
「夫婦で子育てって？」
に、夫婦あるあるを笑
伝えしました

再生791回

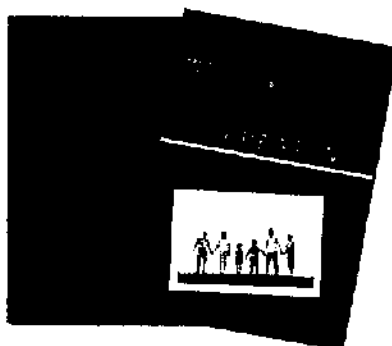
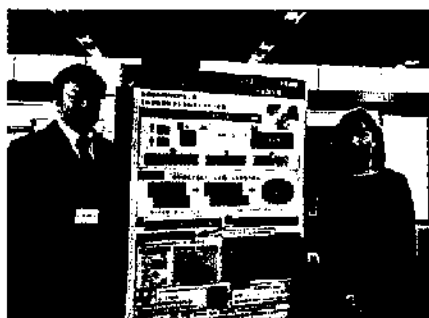
まちの赤ちゃん保健室
健康・美容・「いいね！
日 19:57



かめおか子ども
2時間前

もう限界(笑)

いいね！ コメント



日本ソーシャル・イノベーション学会
ポスター発表



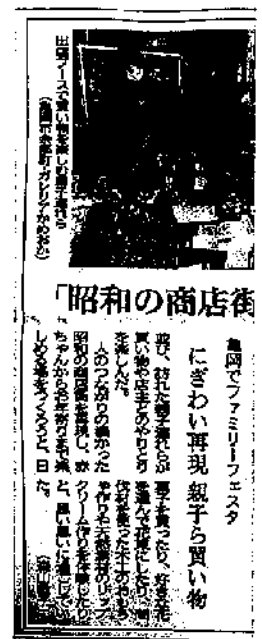
こどもつながりフェスタin京都にて
活動紹介

家族円満のための新型プログラム
「FAMILY CREATING」



こどもつながりフェスタin京都にて
夫婦円満セッション

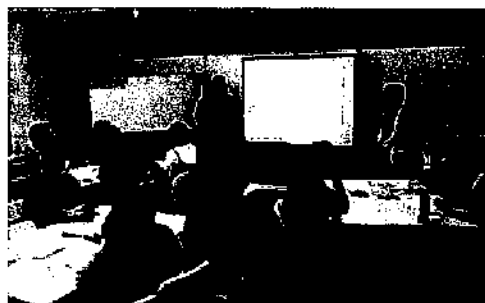
2020年
2/11
「ファミリー」
このページに



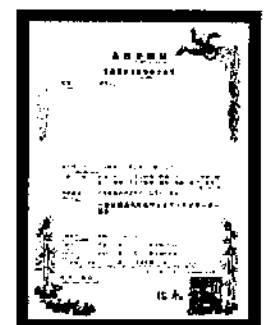
事業実績

ファミリークリエイテ ィング

夫婦向け講座・セッション
家族向け講座・講演会
支援者向け講演会・説明会
大学生向けセミナー
企業研修



ファミナビ今後のスケ
ジュールはこちら>>

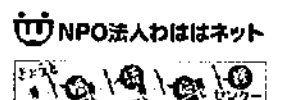


子どもキャリア教育

かめおか子ども新聞
子どもキャリアスクール

婚活イベント

セミナー付イベント
クリスマスイベント



家族支援事業

つながり応援フェスタ
ロールモデルカフェ
ファミリーフェスティバル

ワーク・ライフ・バランス

職場復帰セミナー

役員名簿

団体名	一般社団法人日本ファミリーナビゲーター協会	
役職	氏名	住所（町名まで）
代表理事	田中 美賀子	
副代表理事	竹内 博士	
副代表理事	谷口 英子	
監事	森 隆治	

※欄が不足する場合は、適宜追加してください。

※提出頂く名簿が会則等で定める役職と合致していることをご確認ください。

事業計画書

団体名： 大井町文化振興会

1. メニュー名	申請するメニューに○をしてください。 (1) スタート事業 ○ (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	第4回大井町文化発表会
3. 場所	実施場所を記入してください。
亀岡市立大井小学校および大井町全域	
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和2年4月1日～令和3年3月31日までです。
令和2年 4月30日から 令和3年 3月31日まで	
5. 課題	事業実施の背景となる地域課題について、現状や課題を具体的に記入してください。できるだけ、数値などの具体的なデータも記載してください。 ※申請団体の抱える課題ではありません。
高齢化社会が進んで行き、大井町においても現実の課題となってきています。民生委員さんが把握されている範囲でも高齢者世帯・一人暮らし世帯を合わせると500世帯に近づいています。また75歳以上の人口も700人以上となり深刻な状態になっています。 高齢者の方々には大井町自治会が挙げた「住んでよかった大井町、老後も楽しい大井町」というスローガンを感じて頂く様な活動の実施、また大井町の高齢者が元気で明るく生き生きと毎日を豊かに暮らし、そのような高齢者を住民みんなで見守り、支え合っていけるような街にしようと取り組める活動を継続していくこと必要と強く感じています。 現在も、ゲートボールやグランドゴルフなど、スポーツを楽しまれている高齢者は多くおられますが、体調等で参加をひかえておられる高齢者やなんとなく参加しづらい感じを持たれている方も多くおられると思います。おしゃべりやお茶のみといった気軽な気持ちで参加できる各種の文化サークル活動を通じて更に多くの人に参加して頂き、盛んにしなければならないと考えます。 またその先には参加された方々にはサークルでやった成果の披露となる「大井町文化発表会」を開催し、目標や生きがいのようなものを感じて頂けたらと思います。毎回多くの発表参加があり、高齢者から幼児世代までととても広い世代にまたがっています。この広がりをもっと推し進めていく必要があります。	

6. 事業内容	上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。 (例；実施スケジュール、会場、内容、講師名、対象者、情報発信方法等)
	前記のような思いから、平成28年夏に完成した「大井音頭」も「大井神社花まつり」、「大井町盆踊り大会」の中に広く浸透しはじめて、多くの住民が大井音頭を踊って楽しまれています。 並行して設立した「大井町文化振興会」においても平成29年4月に設立から継続して活動開催しております。 この「大井音頭」をはじめ、手芸や日本舞踊、歌声活動などによって、高齢者の生きがいと日常的な交流が盛んになるように活動し、それらの活動の集大成として「大井町文化発表会」を3年継続開催しております。若い世代から高齢者までの幅広い人々が実行員会を構成し、準備から舞台発表・展示発表の当日運営に至るまで参加協力する事が出来ました。 この実績を踏まえて、将来にわたって「大井町文化発表会」を今後も毎年開催し続けられるように、今年度も更に体制を整えていきます。 この事業の継続によって、大井町のすべての世代の住民に亘って「支え合い・助け合い」の心意気が育成されること、世代を超えた交流を目指します。 第4回大井町文化発表会 開催要項 実施時期 ; 令和 2年 11月15日(日) 会 場 ; 大井小学校 運動場及び図工室など 内 容 ; ①舞台発表 大井音頭 歌 踊り 器楽演奏 演武 カラオケ など ②展示発表 手芸 編み物 工芸 園芸品 絵画 書道作品 写真など 参加対象者 ; 大井町在住者を主にするが、町外在住者も参加を認める。 募集期間 ; 令和 2年7月1日(月)～9月30日(月) 大井町内の全戸に回覧を回し案内する 1. 「大井町文化発表会」は、団体・個人を問わず参加可能とするが、7～9月に公募し、一定の審査をしたうえで参加を決定する。 2. 参加決定した団体・個人で「大井町文化発表会実行委員会」を組織し、準備・運営に当たる。 3. 「大井町文化発表会」は、「大井町ふれあい町民祭」と同日開催とする。 4. 「大井町文化発表会」後、前年に引き続き「大井町文化振興会会報誌3号」を発行する。 当日の集客のための広報は、「大井町ふれあい町民祭」のPRと同時に行い、大井町自治会によって町内全戸配布のチラシ、町内各所の掲示板や商店の店頭等にポスターを張るなど、きめ細かく行います。また大井町自治会のホームページでも活動内容を掲載し広くPRしていきます。 「大井町民祭」は毎年1000人以上の集客ができる一大イベントなので、同日開催によって非常に多くの来場者が期待できます。
7. 目標	本事業の実施が地域課題解決にどのようにつながるのか、また本事業で達成したい目標について、アウトプット（事業の参加者数などの目標）とアウトカム（課

題解決を評価する目標) の2つの観点から記入してください。	
(1) 地域課題について 近年では、地域社会の人間関係が希薄になり、町内での深い付き合いや助け合いなどが違い昔のように感じられます。これからの高齢化社会を見据えて私たちの大井町を、かつてのように地域の中での確かな人間関係と、住民それぞれが親密な絆でつながり支え合う、あたたかな優しいまちを目指さなければなりません。 日常的に様々な文化活動を通じた繋がりが、このようなコミュニティ意識を醸成し、それら活動の集大成を「大井町文化発表会」として実行するのは、この上ない確かなまちづくりになるものと確信します。 (2) 事業の参加者数など 「大井町文化発表会」では舞台・展示発表で毎回合計約150名の参加者があります。また今年度は200名を目標に募集活動します。観覧者は数百名以上を目指します。 (3) 今後の地域における文化振興について 「大井町文化発表会」の開催を続けることによって、地域住民の中での活動サークルや活動家の輪を拡げると共に、更に文化振興会の活動を知って頂けることを目指して、「第4回大井町文化発表会」開催後、住民に大井町における文化活動についての情報発信をすることに取り組みます。	
8. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。
大井町自治会 大井町区長会 大井町自治会は、「大井町ふれあい町民祭」の主催団体になりますので、「大井町文化発表会」の全てにわたって大井町をあげての取り組みとして、大井町区長会と共に全面的に協力していただけます。 民生委員・児童委員 亀楽会（老人会） 地域の高齢者に「大井町文化発表会」の趣旨や意義を伝え、参加を勧める役割を担っていただけます。 小中学校PTA 子ども育成会 子どもたちや若者への周知、あるいは参加を呼びかけ、同時に団体としての参加協力をしていただけます。 その他の大井町各種団体 体育振興会 青少年育成連絡協議会 大井ふるさとの会 「大井町民祭」に毎年協力していただいているのと同じように、「大井町文化発表会」	

の開催準備や、当日の運営に協力していただけます。

**9. 既実施時の
課題と成果**

※本支援金を過去に交付した事業の継続申請の場合は記入してください。
事業実施時の課題と成果、また、今回の申請にどのように課題と成果を反映した
のかを前回交付時の報告書と対比させて、具体的に記入してください。

(1) 開催会場および「町民祭」と同時開催について

「大井町文化発表会」を3回開催して、地域の中での認識が広がって来ていますがさらに多くの町民の方に認識していただくために「ふれあい町民祭」と同日開催が最も望ましいと、毎回の開催で感じています。毎年検討議題に上がる同日開催での野外ステージ、舞台設営・天候の問題・野外には不向きな演目、など検討課題は残りますが認知度と集客を考えると同時開催が今のところ最良と考えております。

(2) 参加者について

参加者については活動の理解度、認知度も広がり前年参加者プラスαの参加者増の期待も感じられます。更に多くの参加者が集まるためには、大井町の中の文化活動家や芸術家やそういった事に興味を持っておられる町民の方、また参加者の横のつながりからの方々にも積極的に声掛けをして、参加者をもっと増やす活動が大事であることが強く感じています。

(3) PRや観客動員について

大井町内で各種事業・行事の中で、「ふれあい町民祭」は「町民運動会」と並ぶ大きなイベントなので、同日開催にすればPRや観客動員には最も都合がよいといえます。

(4) 情報発信について

今年においても「大井町文化発表会」の開催後に、会報誌を作成し全戸配布しました。大井町の文化活動の現状を情報発信して、多くの住民に文化活動について理解を深めて頂いたものと確信します。また新たな活動参加募集の掲載をし、誘いかけるきっかけにします。

**10. 支援終了後
の展開**

本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開を
どのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。

今年度も、本支援金の(2)ステップアップ事業の支援金を適用していただいて、毎年の開催ごとに十分実績をあげて、大井町の中の大きな年中行事の一つに組み込まれるように、若者から高齢者までのすべての世代で盛り上げていきます。

また資金面では、「亀岡 NAWASHIRO 基金」等も視野に入れながら、企業・商店だけでなく、個人をも含む大井町内の幅広い人々から協賛金を集めるという手法や、この文化発表会が大井町を盛り上げる大事な行事であることを自治会にアピールし助成金UPといった事も一つの手段として、文化発表会の継続開催の方法を探ってみたく思います。

このような取り組みが、地域の人たちの豊かな文化活動と深い人間関係を育み、今後の高齢化社会の中での確かな地域共生社会を形成する一助となるものと確信しています。

※内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

※事業内容が分かる参考資料があれば、添付してください。

収 支 予 算 書

団体名 大井町文化振興会

〔収入〕

項 目	予算額(円)	内訳(数量・単価など)
支えあいまちづくり協働支援金	60,000	※交付申請書の申請額と同額になります。
自己資金(会費等)	72,000	大井町文化振興会事業予算
事業収入		
その他補助金等 ※スタート事業は不可		
その他		
合計額	132,000	※支出総額と同額になります。 交付申請書の事業費総額と同額になります。

〔支出〕

項 目	予算額(円)	
対象経費	委託料	84,770 設備費分担金(音響機材借用料、ステージ設置費 / 169,540×0.5)
	使用料	2,000 展示用机借り代
	印刷製本費	4840 発表者募集チラシ、会議資料印刷代
		7,000 当日プログラム用紙・印刷代
		5500 看板、ポスター作製
	消耗品費	7,430 クリップ、各種用紙、展示会場用品等
		1760 展示写真用額縁@110×16
	手数料	220 振込手数料
	印刷費	18,480 「お〜いぶんか」印刷費
	間接経費(B)	直接事業費の10%、もしくは5万円のうち少ない額 ※スタート事業・ステップアップ事業は算入できません。
合 計(C=A+B)		132,000
対象外経費		
	合 計(D)	
総 計(C+D)		132,000
		※収入総額と同額となります 交付申請書の事業費総額と同額になります。

※記入欄が不足する場合は、適宜追加してください。

※積算資料を添付してください。

団体概要書

団体名	(ふりがな) おおいちょうぶんかしんこうかい 大井町文化振興会	
代表者役職	会長	
代表者氏名	(ふりがな) まつやま かずお 松山 一男	
団体所在地	住所	〒 621-0011 亀岡市大井町土田2丁目11-20 メディアス亀岡110号(大井町自治会内)
	電話番号	(0771) 22 - 0157
	FAX 番号	(0771) 22 - 1056
	E-mail	@
	WEB サイト	
設立(活動開始)年月日		昭和—・平成 28 年 6 月
会員数(構成員数)		約120人(うち亀岡市民 約120人) ※5人以上の構成員があり、かつ構成員の5割以上が亀岡市民であることが申請要件です。
担当者連絡先	氏名	(ふりがな) やべ けいいち 矢部 恵一
	住所 (文書送付先)	〒
	電話番号	
	携帯電話	
	FAX 番号	() —
	E-mail	

団体のミッション（目的）	※団体のミッション（活動目的）を記入してください。 ※記入の代わりにパンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。 大井町文化振興会の活動目的は、「住んでよかった大井町、老後も楽しい大井町」づくりのため、悠久の昔から育まれてきた大井町の文化を継承するとともに、新たな文化を創出・発展させ、大井町住民相互の親睦と和を図ることです。																
団体の事業内容	※団体の事業内容を記入してください。 ※パンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。 令和元年年12月現在下記の団体が日常的に活動が続けております。 ※令和2年当初からコロナの影響にて活動は中止してます。 要乃会（日本舞踊） 元気サークルお〜い（体操） 手芸の会 大井太鼓 うたごえの会 歴史めぐりの会 会報誌発行 これらの各団体の活動支援と新規入会の勧誘を積極的に進めています。																
団体の事業実績	※補助金や助成金等を受けての事業実績や行政機関等からの受託実績、表彰実績などがあれば記入してください。 ※パンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。 令和2年度においてはコロナの影響で活動自粛中で役員会2回のみになっています。 （前年度の実績）令和元年度活動実績 <table border="0"> <tr> <td>総会</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>役員会</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>5役会</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第3回大井町文化発表会実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2">所属団体の活動</td> </tr> <tr> <td>定期の練習・実技</td> <td>延べ約150回</td> </tr> <tr> <td>発表・お披露目等</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	総会	1回	役員会	8回	5役会	5回	第3回大井町文化発表会実施		所属団体の活動		定期の練習・実技	延べ約150回	発表・お披露目等	9回	その他	
総会	1回																
役員会	8回																
5役会	5回																
第3回大井町文化発表会実施																	
所属団体の活動																	
定期の練習・実技	延べ約150回																
発表・お披露目等	9回																
その他																	

役員名簿 1

団体名	大井町文化振興会	
役職	氏名	住所（町名まで）
顧問相談役	山本 隆志（自治会長）	
顧問相談役	小石原 頼子（舞踊担当）	
顧問相談役	山本 勇（歴史担当）	
顧問相談役	飯田 耕市郎	
会 長	松山 一男	
副会長	矢部 恵一	
副会長	杉江 益子（手芸担当）	
会 計	谷崎 美香	
書 記	細谷 正勝（音楽担当）	
庶 務	宇都宮 純子	
企 画	江幡 浩子	
企 画	木村 勲	

役員名簿 2

役職	氏名	住所（町名まで）
企 画	藤本 邦雄	
企 画	田中 浩之	
企 画	高木 昭夫（元気サークル）	
企 画	木村 朋子	

事業計画書

団体名：特定非営利活動法人プロジェクト保津川

1. メニュー名	申請するメニューに○をしてください。 (1) スタート事業 (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	かめおかプラスチックごみゼロ宣言～みんなで考える亀岡の未来
3. 場所	実施場所を記入してください。
亀岡市内（サンガスタジアム、安詳小学校ほか）	
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和2年4月1日～令和3年3月31日までです。
令和2年4月1日 ～ 令和 ³ 年3月31日	
5. 課題	事業実施の背景となる地域課題について、現状や課題を具体的に記入してください。できるだけ、数値などの具体的なデータも記載してください。 ※申請団体の抱える課題ではありません。
亀岡市内を流れる保津川（桂川）は、ごみの大量漂着や水質悪化など河川環境の悪化が深刻化し、国の天然記念物アユモドキが生息するなど希少な生態系への影響が懸念されるとともに、保津川下りなど観光産業にも大きな影響を与えており、その環境保全が大きな課題となっている。こうした中、2018年12月に発表された「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」をふまえて、今年3月には全国初のレジ袋使用禁止条例が成立するなど、亀岡市における使い捨てプラスチックごみ削減の取り組みは国内外から大きな注目を集めることとなった。さらに、新型コロナウイルス感染拡大により大きな打撃をうけた飲食店の支援とプラスチックごみ削減を両立したクーポンなど、亀岡市内における取り組みは大きな進展を見せているが、<u>一方で依然として事業者や住民へのプラスチックごみ問題対策の必要性が十分に理解されているとはいいがたい状況にある。</u>保津川および支流域においても、レジ袋をはじめとしたプラスチックごみの大量漂着は続いており、当団体が毎月実施している「保津川クリーン作戦」においても、<u>2019年度は1.13トン（かさ容量）のごみが回収され、また依然としてレジ袋がもっとも多い状況が続いている。</u> 保津川の景観を守り、海洋プラスチック汚染を防ぐためには、<u>プラスチックごみの発生抑制</u>は急務であり、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を広め、市民意識の向上をはかり、生活に深く入り込んだ使い捨てプラスチック製品の大量消費という生活習慣を改める必要がある。	

6. 事業内容	上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。 (例：実施スケジュール、会場、内容、講師名、対象者、情報発信方法等)														
本事業では「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を踏まえて、地域住民や事業者、行政機関との連携により内陸部からの海ごみ発生抑制をめざすとともに、これらの取り組みを通じて、人々の関心を高め、幅広い市民や企業がかかわる土壌づくりをめざす。 ＜事業内容・スケジュールについては下記の通り＞ 【シンポジウム^{※1)}】 プラスチックごみゼロの発生抑制に向けて、<u>国内外の先進事例について学ぶ</u>とともに、企業や NGO、自治体の連携のあり方を考える。また使い捨てプラスチックを使用しない飲食イベントである eco マルシェを同時開催し、ごみ削減を実践する「<u>リバー・フレンドリー・レストラン</u>」プロジェクト^{※2)}のキックオフとする。 注1) 本事業は 2019 年度に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により延期して今年度実施するものである。 注2) ごみ削減を実践する飲食店等を支援する認証制度。 【ペイントイベント】 アフリカン・ペイント・アーティスト SHOGEN 氏の指導の下、<u>ごみ収集車に親子でペイント</u>し、ごみ削減に向けたメッセージを発信する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>開催場所</th> <th>内容（名称は仮称）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11 月</td> <td>サンガスタジアム（予定）</td> <td>（シンポジウム） 「川から考えるみんなの未来」</td> <td>見守り保育あり</td> </tr> <tr> <td>2 月</td> <td>安詳小学校（予定）</td> <td>（ペイントイベント） ごみ収集車にペイントしよう「みんなでえがく、亀岡の未来」</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ＜講師については下記の通り＞ 【シンポジウム】 <u>基調講演</u> 坂野 晶（特定非営利法人ゼロ・ウェイストアカデミー理事長、2019 年世界経済フォーラム・ダボス会議共同議長） <u>事例報告</u> 普川 玲（スターバックスコーヒージャパン株式会社購買部 エシカルソーシング・サステナビリティチームマネージャー） マクティア マリコ（一般社団法人 Social Innovation japan/mymizu 代表理事 共同創立者） <u>コーディネーター</u> 仲山徳音（財務省） 【ペイントイベント】 SHOGEN（アフリカン・ペイント・アーティスト） ＜対象者については下記の通り＞ 亀岡市内在住の子育て世代（保護者およびその子供）				時期	開催場所	内容（名称は仮称）	備考	11 月	サンガスタジアム（予定）	（シンポジウム） 「川から考えるみんなの未来」	見守り保育あり	2 月	安詳小学校（予定）	（ペイントイベント） ごみ収集車にペイントしよう「みんなでえがく、亀岡の未来」	
時期	開催場所	内容（名称は仮称）	備考												
11 月	サンガスタジアム（予定）	（シンポジウム） 「川から考えるみんなの未来」	見守り保育あり												
2 月	安詳小学校（予定）	（ペイントイベント） ごみ収集車にペイントしよう「みんなでえがく、亀岡の未来」													

＜新型コロナウイルス感染症対策について＞ ・ 緊急事態宣言などにもとづくイベントの縮小や休止要請があった場合、その内容に応じて開催の可否を検討する。 ・ 緊急事態宣言や要請の有無にかかわらず、感染防止に十分に配慮して、イベントを開催する（十分な換気、参加者同士の距離など。 ・ シンポジウムに関しては、状況を見て屋外での開催も検討する。	
7. 目標	本事業の実施が地域課題解決にどのようにつながるのか、また本事業で達成したい目標について、アウトプット（事業の参加者数などの目標）とアウトカム（課題解決を評価する目標）の2つの観点から記入してください。
【アウトプット】 ● シンポジウムの参加者 100 名 ● eco マルシェへの来店者数 500 名 ● ペイントイベントの参加者 100 名 ● 「リバー・フレンドリー・レストラン」プロジェクトがスタートする（2021 年度） 【アウトカム】 ● 当団体などが提言し、2018 年末に示された「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨が広く市民に浸透する。 ● 住民による市内各所での河川や町なかの清掃活動が活性化する。 ● 保津川に流入するプラスチックごみが減少する。 ● 使い捨てプラスチックの発生抑制に向けた市民の自発的な取り組みが広く行われるようになり、2030 年までの使い捨てプラスチックごみゼロを実現する。 ● ペイントイベントを通じてごみ収集事業への理解が深まり、家庭レベルでのごみの分別や削減の取り組みが一層進み、亀岡版ゼロエミッション計画の達成に貢献する。	
8. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。
【連携】 亀岡市環境政策課：企画および情報発信、シンポジウムの共同開催 亀岡市環境クリーン推進課：企画および情報発信、ごみ収集車両の手配、環境事業公社および市内清掃事業者との調整 ➤ 単なるイベントの共同実施ではなく、市および当団体のもつ広報ツールを活用し、プラスチックごみ削減の必要性、特に 2021 年 1 月に施行を控えているレジ袋使用禁止条例について市民の理解を深める。 ➤ 市内事業者との連携を強化し、花火大会や亀岡祭などの野外イベント、また飲食店での使い捨てプラスチック削減の取り組みを進める。 【協力ほか】 NPO 法人亀岡子育てネットワーク：シンポジウムでの見守り保育	

➤ 昨年度は連携団体として事業を実施したが、今年度はシンポジウムの広報および見守り保育を担当していただくため、協力団体として参画いただく（ペイントイベントは小学生以上を対象として開催するため）。 かめおか eco マルシェ：シンポジウムでのマルシェの運営（出店） ➤ 野外イベントにおける使い捨てプラスチック削減の取り組みの市民理解を深め、花火大会やお祭りなどの他イベント、普段の飲食店での取り組みにも拡げることがめざす。 安詳小学校：ペイントイベントでの会場の提供（運動場） 日本ペイント：ペイントイベントでの塗料および塗装資材の提供、メディアへの広報 （公財）亀岡市環境事業公社、南丹清掃、サカエ産業：ペイントイベントでのごみ収集車の提供 ➤ ごみ収集車の提供については、現時点での協力企業。他事業者にも呼びかけ予定。	
9. 既実施時の課題と成果	※本支援金を過去に交付した事業の継続申請の場合は記入してください。 事業実施時の課題と成果、また、今回の申請にどのように課題と成果を反映したのかを前回交付時の報告書と対比させて、具体的に記入してください。 昨年度は、子育て世代および飲食店を対象にしたワークショップを開催した。子育て世代を対象にしたワークショップでは、海洋プラスチック汚染の実態についての講義と、未就学児とその保護者による親子でのエコバッグ制作大麦ストローの制作を実施し、海ごみ問題への理解を深めることができた。飲食店向けのワークショップでは、石川県金沢市での大麦ストローの製品化の取り組みについての講演を行い、その後、飲食店関係者らと亀岡市内でライ麦ストローの製造・販売に向けた取り組みへと発展した。また、保津川クリーン作戦でも参加者の親子のみなさんとともにエコバッグの藍のたたき染めの体験イベントを行うなどして、買い物へのエコバッグ持参の機運を高めた。 しかしながら、2 月に予定していたシンポジウムは、幅広い市民のみなさんにプラスチックごみ問題について考えていただく機会としたいと考えていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止を余儀なくされた。 今年度は、こうした前年度の成果や課題をふまえて、亀岡市のレジ袋禁止条例施行（2021 年 1 月）を前にした 11 月ごろにシンポジウムを開催することで、<u>海洋プラスチックごみ問題や使い捨てプラスチックごみ削減への市民の理解をさらに深めるとともに、eco マルシェを同時開催することで、飲食店の自発的な取り組みを促すとともに、会場でのライ麦ストローの試飲体験を実施するなどして、販路の開拓をめざす。</u>また、あらたに小学生とその保護者を対象にしたごみ収集車のペイントイベントを開催し、家庭レベルでのごみ削減に向けたメッセージを発信する。
10. 支援終了後の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。 シンポジウムおよび eco マルシェを通じて、プラスチックごみ削減にむけた事業者の理解を高め、当団体の法人会員の増加をめざし団体運営の安定化をはかるとともに、保津川クリーン作戦への参加者の増加をめざす。また、<u>継続的な河川ごみ調査に取り組む体制を整備</u>することで、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の効果を検証し、市民と共有する。 また、プラごみの削減に取り組む飲食店の認証制度である「リバー・フレンドリー・レストラン」を立ち上げ、事業者と NPO が資金面も含めて相互に支援・協力できる仕組みを構築する。なお、本

取り組みに関しては、引き続き米 Surfrider Foundation の助言のもと取り組み、海外も含めて情報を発信することで市内飲食店の支援につなげる。ライ麦ストローについては、本年度は試作を行い、eco マルシェほかでの試飲イベントを通じて課題を抽出し、次年度以降の本格的な事業化をめざしている。

ごみ収集車のペイントイベントについては、次年度以降も市内全小学校・園を会場に実施することで、SHOGEN 氏、日本ペイント、および亀岡市との間で合意済みである。将来的には、全国のごみ収集車にペイントを施し、作品集として出版することを通じて、家庭ごみの削減の啓もう・啓発を進めることを計画しており、本市での取り組みはその第一歩である。

今後も、引き続き本事業を通じて、市内諸団体との連携を深めるとともに、保津川流域の環境保全に資することをめざしたい。

※内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

※事業内容が分かる参考資料があれば、添付してください。

収 支 予 算 書

団体名

特定非営利活動法人プロジェクト保津川

〔収入〕

項 目	予算額(円)	内訳(数量・単価など)
支えあいまちづくり協働支援金	400,000	
自己資金 (会費・寄付・事業収入)	373,800	自己資金
その他補助金 ※スタート事業は不可	600,000	京都府地域交響プロジェクト
その他		
合計額	1,373,800	※支出総額と同額になります。

〔支出〕

項 目		予算額(円)	内訳(数量・単価など)	
対象経費	直接経費	報償費	160,000	シンポジウム講師謝金 (④40000*4)
		旅費	204,000	東京⇄亀岡(普川・マクティア・SHOGEN・仲山③30000*4)、徳島⇄亀岡(坂野①18000*1)、宿泊費(①12000*5)、京丹波町(SHOGEN③30000*2)
		消耗品費	80,000	文具一式 (10000) ; 消毒用アルコール等一式 (10000) 、プリンタトナー (15000*4色)
		印刷製本費	96,000	シンポチラシ印刷(③*28000部)、ペイントチラシ (④*3000部)
		通信運搬費	20,300	イベント告知送料 (⑧84*200) 、イベント用携帯電話 (3500)
		広告宣伝費	90,000	シンポチラシ新聞折込 (28000軒、30000*3社)
		保険料	3,000	保険料 (年間保険料30000円を按分)
		使用料及び賃借料	89,000	軽トラック(③3000*3日) 、シンポ会場費 (80000)
		委託料	308,000	Gyuttoメール配信 (10000/月) 、シンポでの保育 (1,500円×4h×3人) 、ペイントイベント運営および指導一式 (②200000) 、チラシデザイン (④40000*2)
		手数料	1,000	振込手数料
		飲食費	2,500	講師お茶代(⑤500*5)
		小 計(A)	1,053,800	
	間接経費(B)	40,000	直接事業費の10%、もしくは4万円のうち少ない額 ※スタート事業・ステップアップ事業は算入できません。	
	合 計(C=A+B)	1,093,800		
対象外経費	報償費	40,000	団体構成員への報償費 (シンポジウム)	
	人件費	240,000	事務局人件費 (⑧80000/月*3月)	
	合 計(D)	280,000		
総 計(C+D)		1,373,800	※収入総額と同額となります	

※記入欄が不足する場合は、適宜追加してください。

団体概要書

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじんぷろじえくとほづがわ 特定非営利活動法人プロジェクト保津川	
代表者役職	代表理事	
代表者 氏名	(ふりがな) はらだ さだお 原 田 禎 夫	
団体 所在地	住所	〒 621-0804 京都府亀岡市追分町谷筋 3 7-2 1 ふらっと HOUSE 2 階
	電話番号	(0771) 20 - 2569
	FAX 番号	() -
	E-mail	info @ hozugawa.org
	WEB サイト	http://hozugawa.org
設立（活動開始）年月日 昭和 ・ 平成 1 9 年 7 月		
会員数（構成員数） 3 1 人（うち亀岡市民 2 3 人） *正会員 ※5 人以上の構成員があり、かつ構成員の 5 割以上が亀岡市民であることが申請要件です。		
担当者 連絡先	氏名	(ふりがな) はらだ さだお 原 田 禎 夫
	住所 (文書送付先)	〒 621-0804 京都府亀岡市追分町谷筋 37-21 ふらっと HOUSE
	電話番号	(0771) 20 - 2569
	携帯電話	
	FAX 番号	() -
	E-mail	harada @ hozugawa.org

団体のミッション（目的）	各種団体・企業・行政との健全なパートナーシップに基づいて保津川流域に係る環境保全の向上を促進し、もって望ましい市民社会の実現に寄与することを目的とする。
団体の事業内容	当団体は、団体の目的を達成するため、次の事業を行う。 ① 保津川クリーン作戦事業 ② 保津川に関する環境教室・観察会事業 ③ 保津川の環境保全・循環型社会構築に係るシンポジウムなどの交流連携促進事業 ④ 保津川の環境保全・循環型社会構築のための啓発事業 ⑤ 保津川の環境保全・循環型社会構築のための調査研究事業 ⑥ 保津川の環境保全・循環型社会構築のための広報誌の発行事業 ⑦ まちづくりの推進を図る活動 ⑧ 保津川流域の環境保全・循環型社会構築に貢献する観光商品の開発事業 ⑨ 保津川流域の歴史・文化・自然を活用した観光商品の開発事業 ⑩ 保津川流域の歴史・文化・自然に関する情報発信事業 ⑪ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
団体の事業実績	保津川および支流域でのクリーン作戦の開催 毎月第3日曜日に開催、2020年1月で127回目を迎えた（2月は環境教室を開催。3月以降は新型コロナウイルス感染拡大により中止）。一般参加者に加え、地元自治会や企業との協力により実施しており、1回あたりの参加者は40～300名、年間約1,000名の参加者がある。 保津川復活プロジェクト 2007年より毎年開催し、半世紀前に途絶えた筏流しの復活に取り組む。2016年に京都府で開催された第40回全国育樹祭では、京都府緑化功労者等表彰を受賞した。 海ごみサミット・川ごみサミットの開催 内陸部初開催となった第10回海ごみサミット 2012 亀岡保津川会議を開催。当団体と亀岡市環境政策課による協働で実行委員会事務局を運営した。サミットには国内外から500人以上が集まり、内陸部からの海ごみの削減について協議し、「亀岡保津川宣言」および「川のごみや海のごみをともに考える京都流域宣言」を採択した。またサミット終了後も、「川と海 つながり共創プロジェクト」として、引き続き亀岡市環境政策課と当団体の共同事務局により、漂着ごみ削減に向けた回収処理および発生抑制策の推進につとめている。この一環として、2017年は第3回川ごみサミット亀岡保津川

	会議を開催した。 獲得した主な助成金など TOTO 水環境基金（2008、2011） トヨタ財団地域社会プログラム（2009-2010、2017） 平和堂財団夏原グラント（2014-2018） 環境省協働取組加速化事業（2015） ライフ&ネピア助成金（2015-2017） 河川財団河川整備基金（2016） アウトドア環境保全基金（2019）
--	--

役員名簿

団体名	特定非営利活動法人プロジェクト保津川	
役職	氏名	住所（町名まで）
代表理事	原田 禎夫	
副代表理事	坂本 信雄	
副代表理事	豊田 知八	
理事	河原林 洋	
理事	大西 信弘	
理事	中野 恵二	
理事	山田 達也	
理事	豊田 覚司	
理事	茂野 晃史	
理事	森田 孝義	
理事	松本 安寿香	
理事	早田 和仙	
監事	山内 俊房	

監事	田中 秀門	
----	-------	--

※欄が不足する場合は、適宜追加してください。

※提出頂く名簿が会則等で定める役職と合致していることをご確認ください。

団体概要書

団体名	(ふりがな)	かめおかしかんきょうクリーンすいしんか 亀岡市環境クリーン推進課
代表者役職		課長
代表者 氏名	(ふりがな)	おおにし みつはる 大西 光治
団体 所在地	住所	〒 621-0101 亀岡市東別院町小泉桜塚 6-6
	電話番号	() —
	FAX 番号	() —
	E-mail	@
	WEB サイト	
設立（活動開始）年月日		昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 月
会員数（構成員数）		人（うち亀岡市民 人） ※5 人以上の構成員があり、かつ構成員の 5 割以上が亀岡市民であることが申請要件です。
担当者 連絡先	氏名	(ふりがな)
	住所 (文書送付先)	〒
	電話番号	() —
	携帯電話	() —
	FAX 番号	() —
	E-mail	@

団体のミッション（目的）	人と環境にやさしいまちづくり～生活環境の向上 ・ 環境基本計画の進行管理と市民啓発 ・ 自然環境の保全と整備 ・ 環境を守るルールづくりと指導 ・ 市民活動の推進 （亀岡市第４次総合計画後期基本計画 第５章より）
団体の事業内容	一般廃棄物の処理及び計画に関すること。 一般廃棄物の収集運搬に関すること。 ごみの減量及び資源化に関すること。 一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可に関すること。 亀岡市循環型社会推進審議会に関すること。 資源循環型社会の推進に関すること。 環境事業公社との連絡調整に関すること。 一般廃棄物処理に係る特殊車両の運転及び保守管理に関すること。 ほか （亀岡市環境クリーン推進課ウェブサイトより抜粋）
団体の事業実績	※補助金や助成金等を受けての事業実績や行政機関等からの受託実績、表彰実績などがあれば記入してください。 ※パンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。

団体概要書

団体名	(ふりがな)	かめおかしかんきょうせいさくか 亀岡市環境政策課
代表者役職		課長
代表者 氏名	(ふりがな)	やまうち つよし 山内 剛
団体 所在地	住所	〒 621-8501 亀岡市安町野々神8番地
	電話番号	() —
	FAX 番号	() —
	E-mail	@
	WEB サイト	
設立（活動開始）年月日		昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 月
会員数（構成員数）		人（うち亀岡市民 人） ※5 人以上の構成員があり、かつ構成員の 5 割以上が亀岡市民であることが申請要件です。
担当者 連絡先	氏名	(ふりがな)
	住所 (文書送付先)	〒
	電話番号	() —
	携帯電話	() —
	FAX 番号	() —
	E-mail	@

団体のミッション（目的）	人と環境にやさしいまちづくり～生活環境の向上 ・ 環境基本計画の進行管理と市民啓発 ・ 自然環境の保全と整備 ・ 環境を守るルールづくりと指導 ・ 市民活動の推進 （亀岡市第４次総合計画後期基本計画 第５章より）
団体の事業内容	環境政策に係る総合企画、調整及び指導に関すること。 地球温暖化対策に関すること。 かめおかプラスチックごみゼロ宣言に関すること。 環境美化の推進に関すること。 自然環境保全に関すること。 ほか （亀岡市環境政策課ウェブサイトより抜粋）
団体の事業実績	※補助金や助成金等を受けての事業実績や行政機関等からの受託実績、表彰実績などがあれば記入してください。 ※パンフレットや WEB サイトをプリントアウトしたものの添付でも結構です。